

【東かがわ市】

校務DX計画

1. 校務DXを推進する上での現状と課題

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果、現状では、平成30年度に導入した統合型校務支援システムの活用により、メールやクラウドツールを用いた教育委員会と学校間の情報共有データ共有等が浸透しつつあり、働き方改革につながっている。

教員研修については、対面形式での実施が中心であり、クラウドツールの積極的な活用による負担軽減とコミュニケーションの活性化が課題である。

2. 校務DXを推進するための課題解決策

押印や通信手段としてのFAX利用の見直しを行い、校務の効率化やペーパーレス化を進める。

クラウドツールの積極的な活用を図るため、各市立学校のICT担当者会議等において情報共有や事例紹介等を行う。

3. 次世代校務DX環境の整備について

令和5年3月に文部科学省が取りまとめた「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務DXの在り方）を目指し、今後必要な環境整備について、県内の市町教育委員会等とも連携しながら、検討を深める。